

演劇

(現代演劇、ミュージカル等)

- ◆ 一般社団法人KYOTO EXPERIMENT
- ◆ 株式会社サイ
- ◆ 株式会社precog
- ◆ 株式会社ホリプロ

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭をプラットフォームとした次代のクリエイター育成事業

(実施団体:一般社団法人 KYOTO EXPERIMENT)

目的・目標

日本の舞台芸術分野において、海外では一般的である専門的人材としてのキュレーターは未だ少ない。KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭は、創設当初よりキュレーションに責任を持つディレクターを置いてきた国内でも数少ない舞台芸術祭であり、世界中の芸術関係者の注目を集めてきた。本事業では、京都国際舞台芸術祭を育成の場として、次代のキュレーターを世界的に活躍できる人材として育成する。これによりアーティストの海外展開や海外との協働に繋げ、我が国の文化芸術の国際的プレゼンス向上に資することを目的とする。

概要

本事業では上記目標を達成するため、以下の5つの活動を、相互にシナジーを生み出すように設計し、実施する。

- 1.ショーケース企画を通じた次代のディレクター育成
- 2.海外キュレーター招聘による国際ネットワーク拡充
- 3.プロデュース作品の海外上演を通じたアーティスト育成
- 4.国際的なプロデューサー、テクニカルディレクター育成
- 5.批評プロジェクトによる評論家育成

3年目までの取組

次代のプログラムディレクター候補であるキュレーターが、毎秋に開催するKYOTO EXPERIMENTの会期中にショーケース公演を企画・上演する。同時に、海外からの著名なキュレーターの招聘、海外での作品上演に向けたプロデューサー、舞台スタッフ、演出家の育成、国際的な批評を行える評論家の育成を行う。また、海外の劇場や芸術祭とのネットワークを構築・強化し、プロデュース作品の海外上演も行う。



松本奈々子、西本健吾 / チーム・チープロ『女人四股ダンス』(2022)
撮影：岡はるか

5年目までの取組



KYOTO EXPERIMENT 2022 特設ミーティングポイントでの国際交流の様子
展示物制作：CMTK (Chihiro Mori & Teppei Kaneuji)

3年目までのディレクター育成の成果を踏まえ、KYOTO EXPERIMENTの新プログラムディレクターを決定。5年目には新プログラムディレクターと、育成した新プロデューサー・テクニカルディレクターの下、世界から注目される国際舞台芸術祭としてKYOTO EXPERIMENTを開催する。また、育成スタッフが中心となる形で、海外で8~10箇所程度の上演を目指す。これらにより海外上演経験を積んだアーティストには、海外からの新作委嘱が2~3件程度あることを目指す。

中核となるクリエイターやアドバイザー

川崎陽子

舞台芸術プロデューサー。2020年よりKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭共同ディレクターを務める。令和5年度（第74回）芸術選奨文部科学大臣新人賞（芸術振興部門）受賞。



育成対象者：39人

キュレーター：3名 プロデューサー・舞台スタッフ：各2名
評論家：9名程度 演出家：23名程度

※現在確定済み12名（キュレーター、プロデューサー、舞台スタッフ、演出家のうち5名）。

残り27名は選考を経て決定。

(分野・ジャンル)
舞台芸術(演劇)

(渡航先の国・地域)

ヨーロッパ・アジア・北米・オセアニア(2025-2026年)

(国内外の連携・協力体制)

- ・Asia Pacific Festivals Connection
- ・京都国際舞台芸術祭実行委員会

【構成団体】京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO（一般社団法人アーツシード京都）

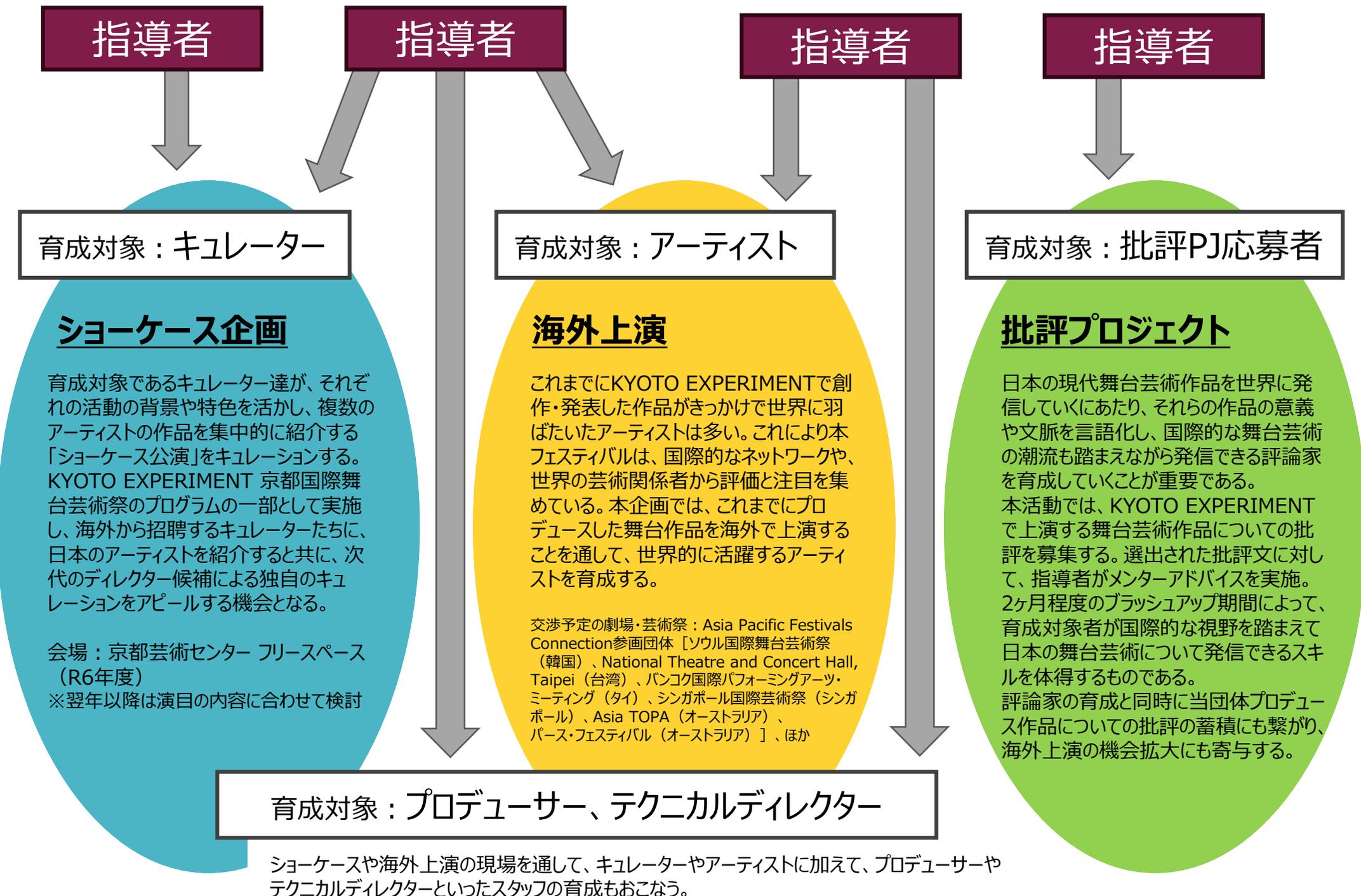
- ・その他海外フェスティバル・劇場

成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	39人
国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など）	28件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	12人
国内外で展開される公演・展示等の数	29回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	4,800人

【補足資料】



目的・目標

次代を担うクリエイターが、3年間でインド、ブラジル、ポーランド、香港、マレーシア等の団体やクリエイターと公演事業を展開し、3年目にはインドでの滞在制作を行うことを目標とする。公演以外の事業として、セミナーやトークセッションを実施し、個々のクリエイティビティやコミュニケーション能力、調和力、思考力自体の引き上げに注力する。これらの企画を通して、アジア人であり、日本人であるクリエイターが、自身の背景にある環境や歴史を認識し、矜持とスキルと強い意志を持って国際社会で対等に渡り合える意識を持たせることを目的とする。

概要

3年間で5カ国の団体やクリエイターと国際共同制作事業を行う。また、4カ国において海外調査研究を行い、国際社会の多様性を知り、5年後、10年後を見据えた海外展開や発表の企画制作を行う。5年目には各々が先頭に立ち、海外の文化芸術団体や実演家等と提携、協力し、コンテンツを日本から発信する。世界に向けて活動を拡大することによって、育成対象者の背景となる日本文化そのものへの自負心が生まれ、10年目には国際人として世界を現場にする次代を担うクリエイターに育つよう活動を行う。

3年目までの取組

*1年目【基盤構築】

育成対象者は2公演の制作と上演、展示を実施する。一つの作品はマレーシアの芸術文化団体と共同で制作、マレーシアのクリエイターが来日する。

*2年目【海外交流の加速】

育成対象者は3作品の公演に参加。一つは大規模作品「火の鳥 2050」で、ポーランド、マレーシア、ブラジル、インドネシアのクリエイターが来日し、滞在制作、東京と関西で上演する。

*3年目【海外でのコラボレーションの深化】

育成対象者は香港のクリエイターと日本で作品を創作し、都内のギャラリーで作品の公演と展示を実施。インドで現地のクリエイターと1カ月以上滞在制作し、インドとアジア最大級の演劇祭と新生の国際展、3つの国際イベントで公演「SOUL Of ILIAD」と展示を実施する。

5年目までの取組

*4年目【ノウハウ継承】

育成対象者は2作品の公演に参加。インドで制作した「SOUL Of ILIAD」を東京で上演。アメリカ、メキシコと日本のクリエイターが参加する「ペドロ・パラモ」で南米の著名なフェスティバル、セルバンティーノ・フェスティバルとの共催を目指す。

*5年目【若手クリエイター中心の活動】

前年度までより積極的に、海外含む若手クリエイターの起用を増やし、創作・公演を進める。日本の古典「古事記」公演には多数の海外アーティストを起用。公演に加え「古事記と世界」をテーマとしたシンポジウムを企画。



(分野・ジャンル)
舞台芸術(演劇)

(渡航先の国・地域)

インド(トリッシュール、コチ、ニューデリー)

(2026~2027年)

(国内外の連携・協力体制)

ポーランドのグロトフスキ研究所、ブラジルの社団法人セスキサンパウロ、マレーシアのクアラルンプール・シェイクスピアプレイヤーズ、インドネシアのARSマネジメント、インドの大学と現地プロデューサーとのネットワーク

成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	14人
国内外の団体・企業等との連携数 (連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	21件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	45人
国内外で展開される公演・展示等の数	65回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	15,825人

中核となるクリエイターやアドバイザー

小池博史（演出家／指導者）

空間演出家・作家・振付家・映画監督。1982年～2012年「パパ・タラフマラ」、2012年～「小池博史ブリッジプロジェクト-Odyssey」(HKBP)主宰。18カ国で88作品を創作。42カ国にて公演。2021年、「完全版マハーバーラタ」（6時間半）を上演。2020年より映画制作開始。



育成対象者：14人

【職種】実演家（俳優、舞踊家）、演出家、制作者、現代美術家、照明家、舞台美術、映像エンジニア

* 公募と自己推薦により選考。

* 公募情報を弊社のHPやSNSの他、文化芸術や国際交流関連の公募プラットフォームでも広く発信する。

【補足資料】

株式会社サイ

海外連携団体

- ・グロトフスキ研究所(ポーランド)
- ・クアラルンプールシェイクスピアプレイヤーズ(マレーシア)
- ・SESCサンパウロ(ブラジル)
- ・ペリプロプロダクションズ(ブラジル)
- ・ニョバカン(マレーシア)
- ・National School of Drama(インド)
- ・ARS マネジメント(インドネシア)

海外調査

フランス
アメリカ
インドネシア
ブラジル

人材育成

セミナー・トークセッション
成果報告プレゼンテーション

育成者

指導者

- ・小池博史
- ・津村禮次郎
- ・松島誠
- ・田中未知子

国際共同制作公演

- 『**Soul of ODYSSEY**』 日本xマレーシア @ザ・スズナリ (東京)
- 『**火の鳥 2050**』 日本xポーランドxマレーシアxブラジルxインドネシア
@ロームシアター京都 サウスホール (京都) & なかのZERO 大ホール (東京)
＜共同制作 (予定)＞
 - ・グロトフスキ研究所 (ポーランド)
 - ・クアラルンプール・シェイクスピアプレイヤーズ (マレーシア)
 - ・SESCサンパウロ (ブラジル)
 - ・ペリプロプロダクションズ (ブラジル)
- 『**世界望郷の旅**』 日本x香港 @EARTH + GALLERY (東京)
- 『**Soul of ILIAD**』 日本xインド
＜共同制作 (予定)＞
 - ・2027 International Theater Festival of Kerala
- ケーララ州国際演劇祭 (インド/トリッシュュール)
 - ・Kochi Biennale 2026-2027
- コチ・ビエンナーレ (インド/コチ)
 - ・2027 Bharat Rang Mahotsav – Int'l Theatre Festival of India
- インド国際演劇祭 (インド/ニューデリー)

目的・
目標

国内での実績があり国際展開が見込める複数のクリエイターを対象に育成事業を実践し、将来自立して国際展開ができる能力を涵養する。アーティストのほか、創作を支える技術者や制作者、批評家らを対象とした包括的な育成により、日本の舞台芸術の基盤を国際水準で強化する。そのプロセスと成果を、共有知としてウェブサイト等で公開・発信し、基礎知識データベースの強化も目指す。

概要

①指導・研修・創作、②ネットワーキング、③国外活動、④広報・営業・アーカイブの4つを軸とし、国際展開に必要な知見、ネットワーク、活動資料・広報体制等の基盤構築のための育成プログラムを実施。海外ツアーや国際共同制作実現に向け、知見の習得と国際性を養う。また国内外のメディアパートナーと連携して本事業のレポート記事や公演レビューを広く発信する。

(分野・ジャンル)

・舞台芸術（現代演劇）

(渡航先の国・地域)

・ドイツ、カナダなど

(国内外の連携・協力体制)

・京都EXPERIMENT、FTA (Festival TransAmériques)とのネットワーク

3年目までの取組

【1年目：国際展開に必要な知見、ネットワーク、活動資料・広報体制等の基盤構築】メンターの指導のもと、長期ビジョン構築、資料作成、現地視察、プレゼンテーション、特設サイト立上げ等を実施。

【2年目：国際的活動の具体化】企画の具体化、フランス・中国・ドイツ・韓国・カナダ等、活動地域の絞り込み、パートナーとの関係強化、資金調達等、各アーティストが具体的な計画に落とし込む。

【3年目：国際的活動の実現】実務フローの習得、現地メディアパートナーとの連携・発信強化等、海外でのツアー公演の実施や国際共同制作の実装に移る。



5年目までの取組



【4年目：国際的活動の展開】主体的・自律的な活動を国際的に展開していくことを可能にするための太い国際ネットワークを構築。共有知化した基礎知識をさらに国内の次世代アーティストに向けて発信。

【5年目：自立的な展開とさらなる育成へ】各クリエイターが6年目以降の新規国際事業の企画立案、国際的な資金調達・交渉、4年目までに実現した国際展開をさらに継続、実現するための調整ができる状態を目指す。

成果目標（見込）	目標値
企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	20人
国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など）	8件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	10人
国内外で展開される公演・展示等の数	30回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	2,700人

中核となるクリエイターやアドバイザー

中村茜(株式会社precog代表取締役)
NPO法人舞台制作者オープンネットワークON-PAM理事。
国際芸術祭「あいち2025」キュレーター(パフォーミングアーツ)。2021年令和3年度(第72回)文化庁芸術選奨。文部科学大臣賞新人賞【芸術振興部門】受賞。

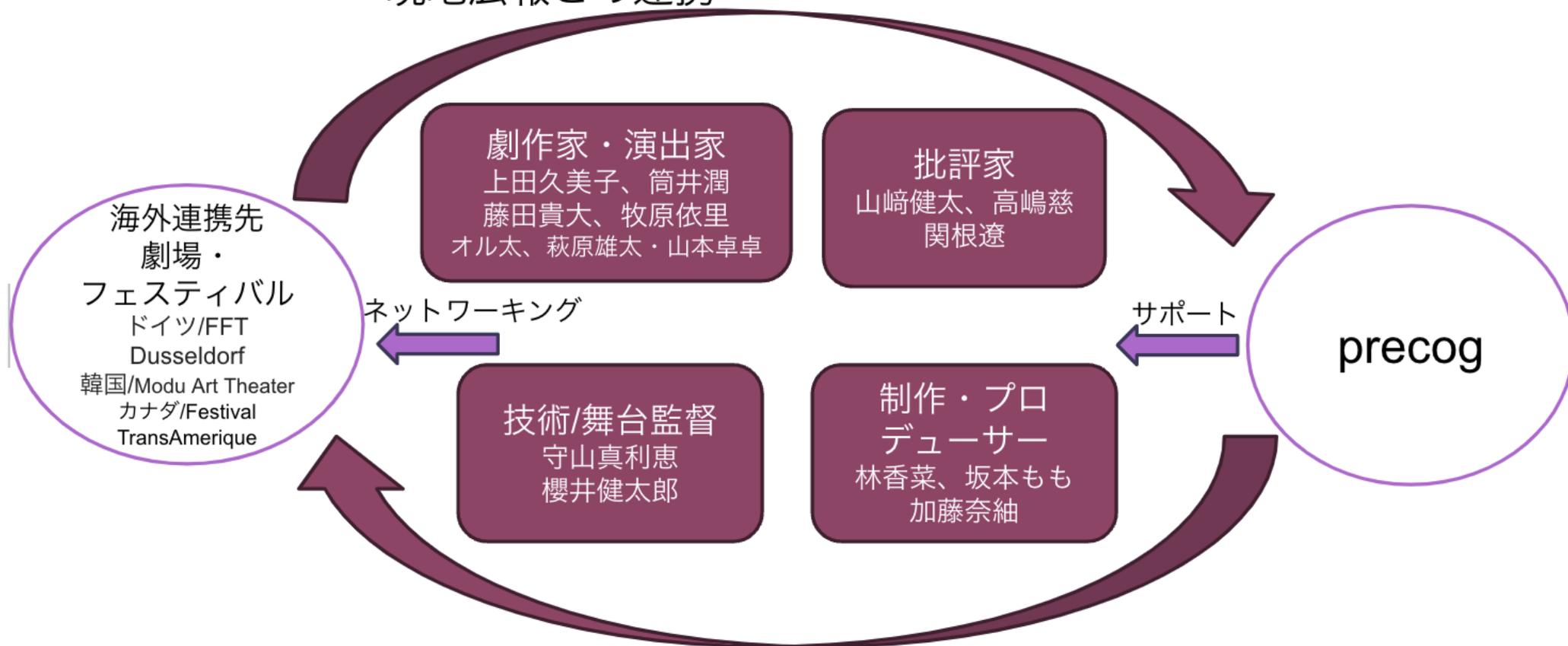


育成対象者：16人

劇作家・演出家 8人
プロデューサー・制作者 3人
技術監督 2人
批評家 3人

(現在、日本国内を拠点に公共劇場等での活動実績があり、まだ国際展開のノウハウやネットワーク開拓が十分でない対象を選定した。)

アーティストの育成/メンタリング
現地広報との連携



ニーズの把握
作品をプレゼンできる場の創出

目的・目標

若手クリエイターに海外展開を見据えた公演の企画・制作の場と海外での上演機会を提供することで、グローバルに活躍するクリエイターの育成と世界的に高い評価の獲得を目指す。また、活動を通して、海外演劇団体との連携を強化し、ネットワーク形成を促進する。事業終了後も、本プロジェクトで培った人材や海外ネットワークを通じて、永続的に若手クリエイターの活躍を支援し、海外へ優れたコンテンツを輸出する基盤を形成する。

概要

若手クリエイター9名(演出家、作曲家、振付家、振付家兼俳優、美術家、プロデューサー)を起用し、1年目~2年目は、上演歴のある作品の海外公演等を通して海外基準の創作の過程や交渉方法を学び、成果発表として3作品で2カ国40回以上の海外公演を実施する。2年目~3年目は、若手クリエイターが主体となって3作品を企画から海外での上演まで(海外公演は第Ⅱ期の予定)を担当する。加えて、全期間を通じて国内外で活躍するクリエイターが指導者となり、世界トップレベルの公演の企画・制作を支援する。

(分野・ジャンル)

・舞台芸術(演劇)

(渡航先の国・地域)

・韓国(2024年・ワークショップのみ、2026年)

・イギリス(2025年、2026年)

・香港(2025~2026年)、上海(2026年)

・シンガポール、ロサンゼルス、オーストラリア、ドバイ(2025~2026年)

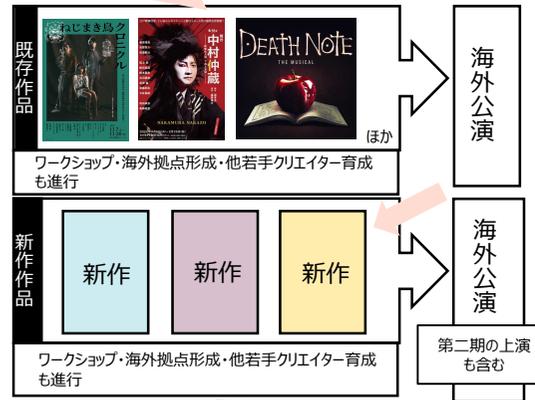
(国内外の連携・協力体制)

・国内外のクリエイター、劇場担当者、制作会社と連携

3年目までの取組

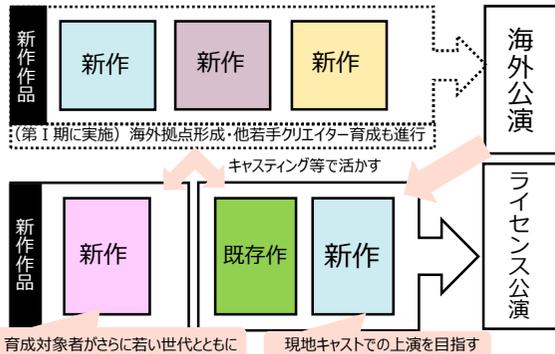
育成対象者はワークショップ等を通して海外クリエイターによる舞台制作の進行方法や、交渉術等を学ぶ。また、日本で上演歴がある作品の海外公演やライセンス公演を行い、準備から上演までの経験と現地での評価を得る機会を設ける。また、海外公演の際は別途現地ワークショップを開催するなどして、新たな拠点形成を推進する。さらに、4年目以降の海外公演を見据えて、オリジナル新作舞台の企画・準備を行う。なお、育成対象者は海外視察を行い、海外ニーズや流行の調査、海外拠点形成や現場見学を実施する。加えて世界に通用するその他のクリエイター育成のために、少なくとも年に1回以上、作曲家による育成プログラムを実施する。

指導者の下、海外公演上演のノウハウを学ぶ



育成対象者が企画から海外公演上演までを担当

5年目までの取組



第Ⅰ期にて海外公演に向けた準備をした作品については、4年目までの海外公演の実施を目指す。第Ⅰ期での海外拠点を活用し、海外批評家を招聘するなどして、国際的評価の獲得を図る。また、第Ⅰ期で海外公演を実現させた作品については、ライセンス公演交渉を進め現地キャストでの上演準備を始め、5年目に上演することを目指す。また、育成対象者が本プロジェクトで得た知識や経験、コネクションを活かして、海外展開を見据えた新しい企画を、さらに若い世代のクリエイターとともに立ち上げ、国内外で上演することを目指す。

成果目標(見込)

目標値

企画段階から海外公演等までに登録される若手クリエイター等の数	15人
国内外の団体・企業等との連携数(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)	36件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	84人
国内外で展開される公演・展示等の数	108回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	79,020人

中核となるクリエイターやアドバイザー

篠田麻鼓(株式会社ホリプロ 執行役員 公演事業本部部長)

【略歴】2001年 株式会社ホリプロに入社。
公演事業部に舞台制作者としての下積みを積み、プロデューサーに。
2016年 公演事業部 副部長
2019年 公演事業部 制作部長
2022年 執行役員 公演事業本部部長

【役割】プロジェクト全体の責任者で指導者のひとり。

育成対象者: 9人

【職種】演出家、作曲家、振付家、美術家、プロデューサー
【選定方法】国内にて豊富な実績を持ち、国内の演劇賞を受賞するなど国内の評価も高く、当社との関係性を既に構築しているクリエイターを選定した。

【補足資料】

